



どうしたらお互いの考えを合わせられるのか

福島選手は、高校時代は主にバドミントン・シングルスで活躍し、社会人のチームに入団後は廣田選手と組んでダブルスを戦うようになり、ダブルスでは二人の考えを合わせることも重要ですが、福島選手はそれが難しかったと打ち明けてくれました。「私は自分の意見を主張するタイプで、廣田選手は年下ということもあり、考えを言いづらくなっていた面もあったようです。実は一度、コミュニケーションの問題から廣田選手とのペアを解消したことがありました。少し期間をおいて再び組んだ

二人の考えを合わせることで、福島・廣田選手の「フクヒロペア」は世界で活躍。東京2020オリンピックでは金メダル候補として大きな期待が寄せられていました。しかし大会直前に、廣田選手が練習で膝を大怪我してしまつたのです。福島選手は「その瞬間はもろろんショックでした。でも、大会に何とか出られそう



二人の考えを合わせることで、福島・廣田選手の「フクヒロペア」は世界で活躍。東京2020オリンピックでは金メダル候補として大きな期待が寄せられていました。しかし大会直前に、廣田選手が練習で膝を大怪我してしまつたのです。福島選手は「その瞬間はもろろんショックでした。でも、大会に何とか出られそう

全力を尽くした先にあったものは

時には、以前よりわかり合おうとお互いが心がけるようになっていました。私も、ただ自分の意見を言うのではなく、その前に廣田選手の意見をまず聞くようになりましたね。

パートナーと気持ちを一つにして、困難に立ち向かった 福島由紀選手

バドミントン女子ダブルス 東京2020オリンピック出場



写真：時事通信提供

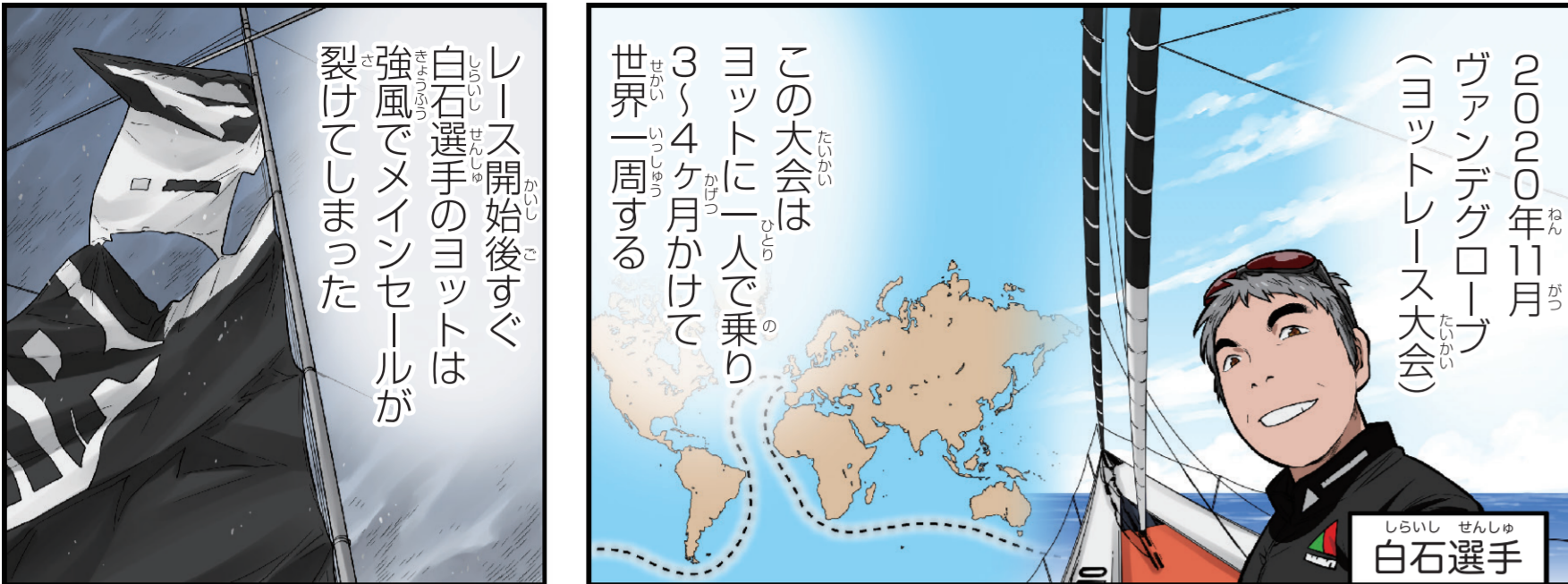
だとかわかってからは、今できる最善のことを二人で話し合っ、全力を尽くしました」と語ってくれました。大会本番、フクヒロペアは見事に勝ち上がり準々決勝に進出。この試合で時おり笑顔を見せていた福島選手は、その時の心境を教えてくださいました。「負けたのはとても悔しいですが、それ以上にあの試合は心から楽しむことができたんです。全力で二人で戦えているという実感があって、自然に笑顔が出てましたね。フクヒロペアは、メダルは獲れませんでした。でも大切なものを掴んだのかもしれないですね。



「フェアプレー宣言」しました!!

今までのおぼろしい「ジュ」を尽くす

プロフェッショナルセーラー 白石康次郎選手



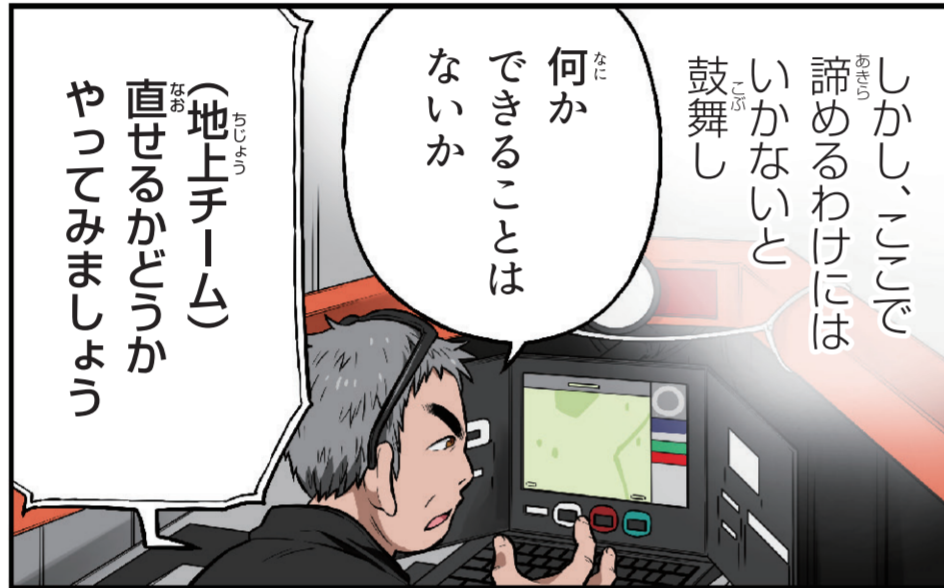
2020年11月 ヴァンデグロープ (ヨットレース大会) この大会はヨットに一人で乗り3〜4ヶ月かけて世界一周する



レース開始後すぐ白石選手のヨットは強風でメインセールが裂けてしまった チームのためにも絶対完走するんだ!



セールが破れて完走した選手はいない リタイアか...と思われた



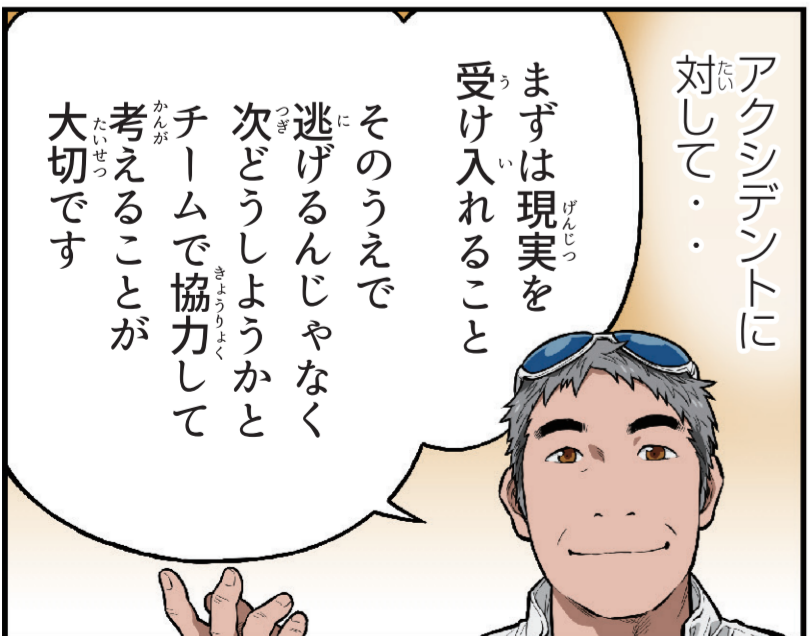
しかし、いかに諦めるわけにはいかないよ 鼓舞し 何かできることはないか (地上チーム) 直せるかどうか やってみましょう



約1/4がリタイアした 過酷なレースを 94日間かけて 奇跡の完走を 成し遂げた



一週間後ついに修復 チームと共に いくつもの苦難を乗り越え (地上チーム) この先に台風発生! 慎重に 了解!



アクシデントに 対して... まずは現実を受け入れること そのうえで 逃げるんじゃなく 次どうしようかと チームで協力して 考えることが 大切です